## (宛先) 三原市長

## 施設等利用費請求書(償還払い用)

幼稚園・認定こども園・特別支援学校幼稚部の預かり保育事業の施設等利用費

【 年 月~ 年 月分請求用】

私は、子ども・子育て支援法第30条の11第1項の規定に基づき、施設等利用費の給付について、下記の通り請求しますので、指定する償還払いの振込先口座に振り込んで下さい。 なお、施設等利用費の審査にあたり、次の事項に同意します。

- 1. 申請者と認定子どもが、三原市内に居住していることを三原市が住民基本台帳で確認すること。
- 2. 実際に利用していることを三原市が対象施設に確認すること。
- 3. 利用料の支払い状況を三原市が対象施設に確認すること。

4. 課税状況を三原市が確認すること。							
以下に該当することを確認し、該当する場合は□にチェックを記入してください。							
□ 裏面 6 に記載した利用年月の施設等利用費について、他市町へ請求していません。 □ 雇用証明書等について、三原市長へ届け出た内容に変更はありません。							
1. 施設等利用給付認定保護者(請求者)			月日		年	月	日
氏       名         取定子どうとの ため。         ※振込先は請求者名義の口座です	5	現住所電	話:	-	-	-	
2. 認定子ども(認定子どもごとに申請して下さい)							
法第30条の4の認定種別 □ 第2号 □ 第3号	認定都	音号					
生年月日 年 月 [	<b>ヨ</b> フリカ	<i>i</i> ナ					
年月日~ 年月日の間の住 □ 現住所のとおり □ 転入した □ 転出し1	<b>上</b>						
上記で転入または転出に該当した場合は転力	、転出日	を記入			年	月	日
3. 在籍する幼稚園・認定こども園・特別支援学校について記入							
フリガナ	所 在	地〒					
施 設 名 称	(市外の場のみ記力		:				
年 月 日~ 年 月 日の間の在籍	犬況 口 其	引間中在	籍□	途中入園	した[	□ 途中退	園した
上記で、途中入園または途中退園に該当した場合	合はその年	月日を記	入		年	月	日

<裏面も記入して下さい>

- 4. 償還払いの振込先を記入して下さい(いずれかの□にチェックを記入してください。) □ 請求が2回目以降です。 ・・・既に届け出た口座へ振り込みますので、記入不要です。5へ進んでください。 □ 請求が初回です・届け出た振込口座を変更したい。 ・・・・以下を記入してください。(※1) フリガナ 口座名義人 銀行 口座番号 支店 □普通 金融機関名 信用金庫 金 (ゆうちょ銀行 農協 種 以外) 出張所 □当座 信用組合 민미 ゆうちょ銀行 記号 番号 ※1 請求者名義に限ります。通帳のコピー(上記の内容がわかるページ)を添付してください。 5. 在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場 合は記入(※2) ※①~⑥に書き切れない数の施設・事業を利用した場合は、余白等に記載して下さい。 フリガナ 地 所 在 ① 施 設 事 名 業 電話: フリガナ 地 在 所 ② 施 設 事 名 業 電話: フリガナ ᆕ 地 所 在 ③ 施 設 事 名 電話: フリガナ ᆕ 所 在 地 ④ 施 設 事 名 電話: フリガナ 地 所 在 ⑤ 施 設 事 業 名 雷話: フリガナ Т 所 在 地 ⑥ 施 設 事 名 業 「在籍園の預かり保育事業以外に認可外保育施設等の利用費の償還払いを受けることができる場合」 は、在籍園の預かり保育事業について、教育時間を含む平日の預かり保育の提供時間数が8時間未満又 は年間(平日・長期休業中・休日の合計)開所日数200日未満の場合のみです。 6. 在籍園の預かり保育事業と、認可外保育施設等の利用(※3参照)における施設等利用費の償還払 い請求の内訳を記入 請求額 ※5 在籍園の預かり保育事業 (「c+d」か 施設に支払った 利用年月 「月額上限額」 金額(a) の低い方を記 認可外保育施設 **\***4 入) 等に支払った aとbの金額の 対象額(b) 利用 「領収書兼特 金額(d) 月額上限額 法第30条の4の (450×利用日 低い方を記入 日数 定子ども・子 ●第2号 認定種別 **※**3 **※**4 数) (c) 育て支援提供 11.300円 証明書」の① ●第3号: 第 号認定 の金額 16,300円 年 月 円 日 円 円 円 円 円 円 年 月 Н 日 円 円
- <u>み記入が可能です。</u>

  ※4 上記で記入した「施設に支払った金額」及び「認可外保育施設等に支払った金額」を証明する「領収証兼特定子ども・子育て支援提供証明書」を添付して下さい。

※5 月額上限額は、法第30条の4の認定種別が第2号の場合は11,300円、第3号の場合は16,300円がとなります。「c+d」がこれを超える場合は、それぞれの月額上限額を記入して下さい。